

こんにちは 婦人会です

梅雨の時節となりました。連日の梅雨空にいささかうんざりしておりましたが、友達のお誘いで、あやめ祭りに行ってきました。欲張って紫陽花祭りにも・・・梅雨の晴れ間にのぞく青空の下、花達が日を浴びて誇らしげに咲き乱れていました。やっぱり群生していると圧巻ですね。ところで、梅雨の楽しみ方って、皆さんはどのように過ごされていますでしょうか。私は、お友達に紫陽花の七変化って聞いたのですが・・・蕾の頃は緑色、それから白く移ろいで、咲く頃には青、紫、薄紅色に。咲き終わりに近づくに連れては花色が濃くなる・・・それからが分からなくて楽しみが途中になっています。誰か教えてください。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

先日、テレビのお天気お姉さんが、大人のマナー「傘かしげ」の話をしておりました。エッ私の知らない言葉・・・またまたインターネットで調べてみました。「傘かしげ」とは、雨の日に人がすれ違う時に傘と傘がぶつかったり、雫がからないように、相手と反対側にスッと傘を傾けることをいうのだそうです。このほかに、「七三歩き」「時泥棒」「こぶし浮かせ」などなど、江戸期に江戸の商人たちが、町が安泰で商売が繁盛する為知恵を絞り磨き上げてきた人付き合いのノウハウで、「商人(あきんど)しぐさ、繁盛しぐさ」といわれ口伝により受け継がれたようです。そもそも「人への思いやり」が原点だそうで、江戸しぐさといわれています。しぐさは、仕草ではなく思草と書くそうです。まさに生活の哲学ですね。相手を尊重し、思いやる心から生まれた江戸しぐさは、現代にも通じる粋なしぐさ。梅雨の季節の傘かしげ、粋ですね～

梅雨明けには、もう暫くかかると思います。お身体に気をつけてくださいね。

江戸しぐさに学ぶ
子どもの「作法」



桜台婦人会 第90号
平成21年6月24日